

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工に関する研究小委員会	主 査 名：名和豊春 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (RC 工事運営委員会)	委員長名：阿部道彦 主 査 名：阿部道彦
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 2009 年度版 JASS 5 で規定された乾燥収縮率 8×10^{-4} 以下の目標を実施するために、技術の現状を取りまとめるとともに、それらの成果に基づいて「収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工指針」を作成する。</p> <p>・ 初年度～2 年度：膨張材および収縮低減剤の材料特性、調合方法、養生などの施工条件が収縮ひび割れに及ぼす影響に関する技術の現状を調査・整理する。</p> <p>・ 2 年度～4 年度：技術の現状を取りまとめるとともに、「収縮低減材料を用いたコンクリートの調査・施工指針」の作成を行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>名和豊春 (主査、北大)、古賀康男 (幹事、セメント協会)、井ノ川尚 (住友大阪セメ)、関田徹志 (鹿島)、木之下光男 (竹本油脂)、黒岩秀介 (大成)、菅俣 匠 (BASF ポゾリス)、栖原健太郎 (電化)、棚野博之 (国総研)、谷村 充 (太平洋セメ)、檀 康弘 (新日鐵高炉)、玉石竜介 (花王)、西田 朗 (清水)、野口貴文 (東大)、兼松 学 (東理大)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>① 無機系混和材料 WG：膨張材などの収縮低減機能を有する混和材について、材料、調合、施工に関する技術の現状を調査し、取り纏める。</p> <p>② 有機系混和材料 WG：収縮低減剤、収縮低減タイプの減水剤などの収縮低減機能を有する混和剤について、材料、調合、施工に関する技術の現状を調査し、取り纏める。</p>	
2010 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	11 回 (WG 委員会、年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	膨張材・収縮低減剤の作用機構、コンクリート物性、ひび割れ低減効果や調合・製造・施工の実態などを調査した。「技術の現状」の目次・執筆担当を決定し、作成に着手した。(完成目標：2011.9～10)
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。